

C2MIDI PRO

ユーザーマニュアル V03

こんにちは、CME のプロフェッショナル製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる前に、このマニュアルをよくお読みください。マニュアルの写真は説明のみを目的としており、実際の製品は異なる場合があります。その他のテクニカル サポート コンテンツとビデオについては、次のページをご覧ください www.cme-pro.com/support/

大事な

- **警告**

接続が不適切な場合、デバイスが損傷する可能性があります。

- **著作権**

著作権 2025 © CME コーポレーション。全著作権所有。
CME は CME Pte.Ltd.を設立しました。その他すべての商標または登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

- **限定保証**

CME は、この製品の 1 年間の標準限定保証を、CME の認定ディーラーまたはディストリビューターからこの製品を

最初に購入した個人または団体にのみ提供します。保証期間は、この製品の購入日から始まります。CME は、保証期間中の製造上の欠陥および材料の欠陥に対して、付属のハードウェアを保証します。CME は、通常の損耗、または購入した製品の事故や乱用によって引き起こされた損傷に対して保証しません。CME は、機器の不適切な操作によって引き起こされたいかなる損害またはデータ損失についても責任を負いません。保証サービスを受ける条件として、購入証明書を提出する必要があります。この製品の購入日を示す配達または販売領収書は、購入の証明です。サービスを受けるには、この製品を購入した CME の正規販売店または販売代理店に電話または訪問してください。CME は、現地の消費者法に従って保証義務を履行します。

● 安全情報

感電、損傷、火災、またはその他の危険による重傷や死亡の可能性を避けるために、常に以下にリストされている基本的な予防措置に従ってください。これらの注意事項には、以下が含まれますが、これらに限定されません。

- 雷が鳴っている間は機器を接続しないでください。
- コンセントが湿気の多い場所用に特別に設計されていない限り、コードやコンセントを湿気の多い場所に設置しないでください。
- 機器を AC で駆動する必要がある場合は、電源コードが AC コンセントに接続されているときに、コードのむき出しの部分やコネクタに触れないでください。
- 機器をセットアップするときは、常に指示に注意深く従ってください。

- 火災や感電を防ぐため、機器を雨や湿気にさらさないでください。
- 機器を蛍光灯や電気モーターなどの電気インターフェース源から遠ざけてください。
- 機器をほこり、熱、振動から遠ざけてください。
- 機器を日光にさらさないでください。
- 機器の上に重いものを置かないでください。液体の入った容器を器具の上に置かないでください。
- 濡れた手でコネクタに触れないでください

包装内容明細書

1. C2MIDI Pro インターフェース
2. クイックスタートガイド

紹介

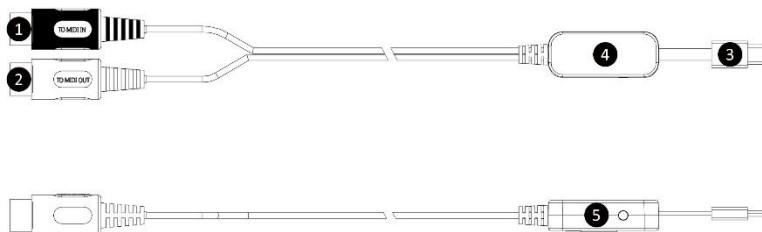
C2MIDI Pro は、世界初の USB インターフェース付きスマート MIDI ケーブルです。スタンドアロンの MIDI マッパーや 2つの MIDI デバイス間のフィルタリングとして、または USB を搭載した Mac や Windows コンピュータ、iOS デバイスや Android デバイス(USB OTG ケーブル経由)を接続するためのプラグアンドプレイ USB MIDI インターフェースとして使用することができます。USB-C コネクタが1つ、MIDI IN が1つ、MIDI OUT 標準の 5 ピン MIDI プラグが1つあります。16 の MIDI チャンネルをサポートします。

C2MIDI Pro には、無料の UxMIDI ツールソフトウェア (macOS、iOS、Windows、Android で利用可能) が付属しています。ファームウェアのアップグレードだけでなく、MIDI ルーティング、マッピング、フィルタリングの設定にも使用できます。すべての設定は自動的にインターフェースに保存されるため、コンピューターを接続せずにスタンドアロンで簡単に使用できます。標準の USB 電源(バスまたはパワーバンク)と MIDI OUT ポート(5v と 3.3v の両方に対応)から給電できます。

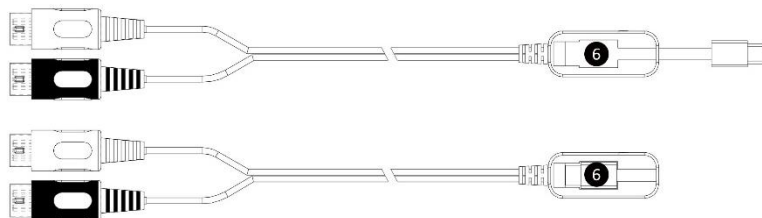
C2MIDI Pro は、最新の 32 ビット高速処理チップを使用しており、USB 経由の高速伝送を可能にして、大容量データメッセージのスループットを満たし、サブミリ秒レベルで最高の遅延と精度を実現します。標準の MIDI ソケットを備えたすべての MIDI デバイス、およびシンセサイザー、MIDI コントローラー、MIDI インターフェース、キーター、電子管楽器、V アコーディオン、電子ドラム、電子ピアノ、電子ポータブルキーボード、オーディオインターフェース、デジタルミキサーなど、プラグアンドプレイ規格を満たす USBMIDI デバイスに接続します。



フロントとサイド



戻る



1. [TO MIDI IN ➡] 黒色 5 ピン DIN コネクタ

- この コネクタ を標準 MIDI デバイスの 5 ピン MIDI IN ポートに接続して、MIDI メッセージを送信します。

2. [TO MIDI OUT ➡] 白色 5 ピン DIN コネクタ

- このコネクタを標準 MIDI デバイスの 5 ピン MIDI OUT / Thru ポートに接続して、MIDI メッセージを受信します。

注意: C2MIDI Pro をスタンドアロンのスマート MIDI ケーブルとして使用する場合、ほとんどの MIDI デバイスの MIDI OUT ポートから給電でき(5V または 3.3V MIDI と互換性があり、MIDI デバイスは

MIDI 規格に準拠している必要があります)、PC に接続しなくても MIDI メッセージのマッピングとフィルタリングが可能です。

3. USB-C コネクタ

C2MIDI Pro は、USB-C コネクタを使用してコンピューターに接続し、MIDI データを送信します。

- コンピューターで使用する場合は、このインターフェイスの USB-C コネクタをコンピューターの USB-C ポートに接続すると、ドライバーをインストールせずに使用を開始できます。コンピューターの USB-C ポートは C2MIDI Pro に電力を供給できます。オペレーティングシステムやバージョンが異なると、C2MIDI Pro は「C2MIDI Pro」や「USB オーディオデバイス」など、異なるクラスのデバイス名として表示される場合があります。
- C2MIDI Pro をスタンドアロンのスマート MIDI ケーブルとして使用して MIDI マッパーとフィルター機能を有効にすると、USB-C コネクタを標準の USB 充電器またはパワーバンクに接続して電力を供給することもできます。

注1:低電流充電モード(Bluetooth イヤフォンやスマートブレスレットなど)があり、自動省電力機能がないパワーバンクを選択してください。

注2:接続した MIDI 機器が MIDI OUT 端子を介して C2MIDI Pro に必要な電力を供給できる場合は、USB 電源を使用する必要はありません。

4. LED インジケータ

C2MIDI Pro には緑色の LED インジケータがあり、MIDI ポートと電源の動作ステータスをそれぞれ示すために使用されます。ポートに MIDI データが送信されている場合は、それに応じてインジケータが点滅します。

5. プリセットボタン

- C2MIDI PRO には 2 つのユーザープリセットが付属しています。電源オン状態でボタンを押すたびに、インターフェースは周期的に次のプリセットに切り替わります。LED は、プリセット番号に対応する同じ回数点滅し、現在選択されているプリセットを示します。たとえば、プリセット 2 に切り替えると、LED が 2 回点滅します。
- また、電源が入っている状態でボタンを 5 秒以上押し続けてから離すと、C2MIDI PRO が工場出荷時の状態にリセットされます。
- 無料の UxMIDI ツールソフトウェアを使用して、ボタンを切り替えて 16 の MIDI チャンネルのすべての出力に「すべてのノートオフ」メッセージを送信することもでき、外部デバイスからの意図しないノートのハングアップを排除できます。この機能を設定すると、電源がオンの状態でボタンをすばやくクリックできます。

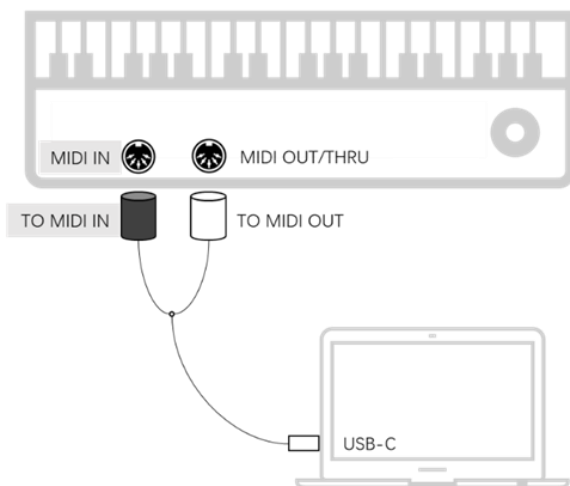
一. USB-C コネクタスロット

C2MIDI Pro インターフェースボックスの背面には USB-C コネクタスロットがあります。C2MIDI Pro をスタンドアロンのスマート MIDI ケーブルとして使用する場合、コンピュー

ターの USB ポートや USB 電源に接続せずに、2 つの MIDI デバイスの MIDIOUT ポートと IN ポートを接続するだけで、USB-C コネクタをスロットに挿入して保存できます。

接続

- C2MIDI Pro を使用して、外部 MIDI デバイスをコンピューターに接続します

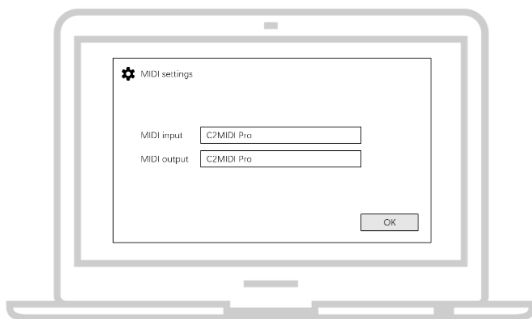


1. C2MIDI Pro をコンピューターの USB-C ポートに接続します。お使いのコンピューターに USB-C ポートがない場合は、別のアダプターまたは USB ハブを購入できます。
2. C2MIDI Pro の[TO MIDI OUT➡]白色 5 ピン DIN コネクタを MIDI デバイスの MIDI OUT または THRU ポートに接続し、C2MIDI Pro の➡[TO MIDI IN]黒色 5 ピン DIN コネクタを

MIDI デバイスの MIDI IN ポートに接続します。

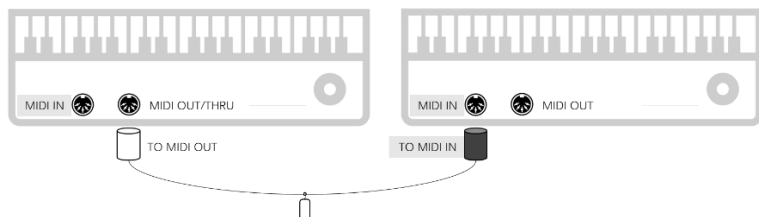
注意 実際のニーズに応じて、1つのMIDIコネクタをMIDIデバイスに接続できます。

3. コンピューターの電源がオンになると、C2MIDI Pro の LED インジケーターが点灯し、コンピューターはデバイスを自動的に検出します。コンピューターで音楽ソフトウェアを開き、MIDI 設定ページで MIDI 入力ポートと出力ポートを C2MIDI Pro に設定して、開始します。



● C2MIDI Pro をスマート MIDI ケーブルとして 2 つの MIDI デバイスに接続

1. C2MIDI Pro の [TO MIDI OUT➡] 白色 5 ピン DIN コネクタを 1 台目の MIDI デバイスの MIDI OUT または THRU ポート➡に接続し、C2MIDI Pro の [TO MIDI IN➡] 黒色の 5 ピン DIN コネクタを 2 台目の MIDI 機器の MIDI IN ポートに接続します。



2. 最初の MIDI デバイスが MIDI OUT または THRU ポートを通じて C2MIDI Pro に必要な電力を供給できる場合、C2MIDI Pro の緑色の LED が点灯し、使用できるようになります。

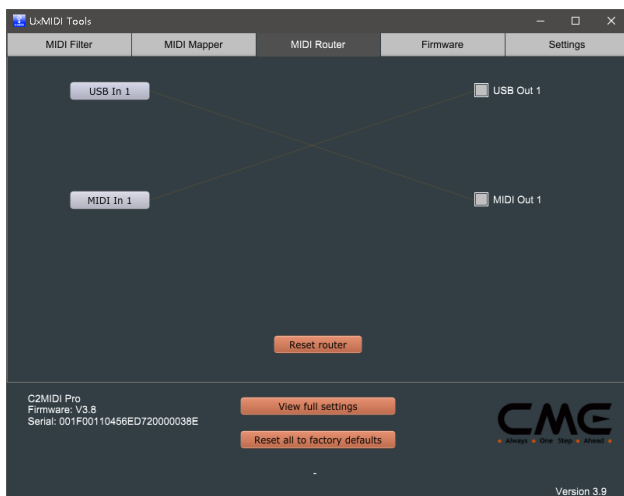
注意: C2MIDI Pro を USB-C ポート経由でコンピューターに接続し、UxMIDI ツールソフトウェアを使用してカスタム MIDI マッパーとフィルターを設定してください。

ソフトウェア 設定

次の www.cme-pro.com/support/ にアクセスして、無料の UxMIDI ツールソフトウェア(macOS X、Windows 7-64 ビット以降、iOS、Android と互換性があります)とユーザーマニュアルをダウンロードしてください。これを使用して、いつでも C2MIDI PRO のファームウェアをアップグレードし、最新の高度な機能を利用できます。同時に、さまざまな柔軟な設定を実行することもできます。すべてのルーター、マッパー、フィルターの設定は、デバイスの内部メモリに自動的に保存されます。

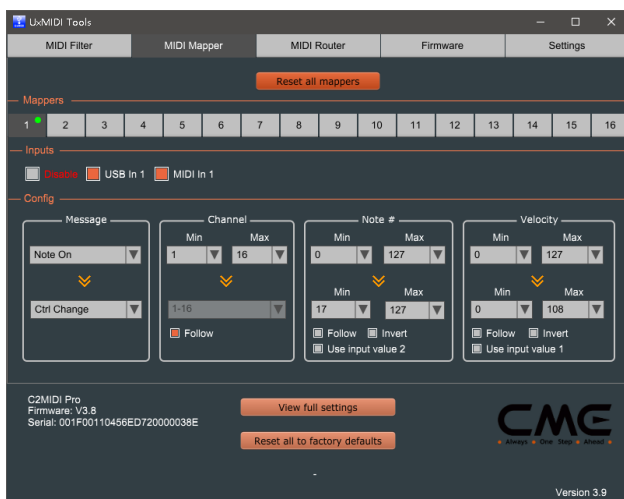
1. MIDI ルーター設定

MIDI ルーターは、C2MIDI PRO ハードウェアの MIDI メッセージの信号フローを表示および変更するために使用されます。



2. MIDI マッパー設定

MIDI マッパーは、接続されたデバイスの選択した入力データを再割り当て(再マップ)して、ユーザーが定義したカスタムルールに従って出力できるようにするために使用されます。



3. MIDI フィルター設定

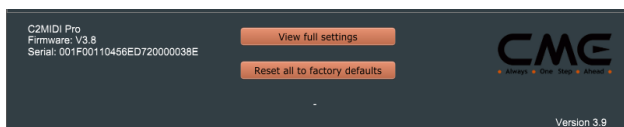
MIDI フィルターは、選択した入力または出力の特定のタイプの MIDI メッセージが通過するのをブロックするために使用されます。



4. View すべての設定とすべてを工場出荷時のデフォルトにリセット

[View Full settings] ボタンは、現在のデバイスの各ポートのフィルター、マッパー、ルーターの設定を 1 つの便利な概要で表示するために使用されます。

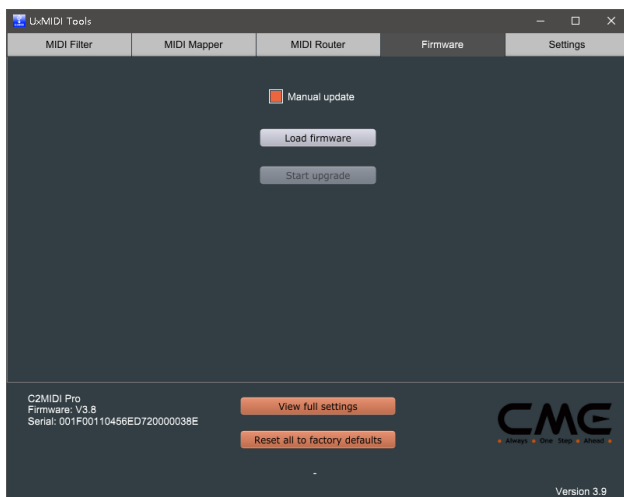
[すべてを工場出荷時のデフォルトにリセット] ボタンは、製品が工場から出荷されたときにユニットのすべてのパラメーターをデフォルトの状態にリセットするために使用されます。





5. ファームウェアのアップグレード

コンピュータがインターネットに接続されている場合、ソフトウェアは現在接続されている C2MIDI PRO ハードウェアが最新のファームウェアを実行しているかどうかを自動的に検出し、必要に応じて更新を要求します。ファームウェアを自動的に更新できない場合は、[ファームウェア]ページで手動で更新できます。

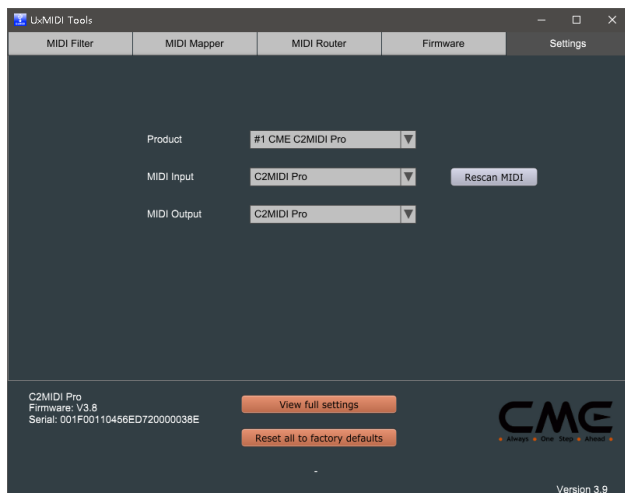


注意: 新しいファームウェアバージョンにアップグレードした後は、毎回 C2MIDI PRO を再起動することをお勧めします。

6. 設定

[設定]ページは、ソフトウェアでセットアップおよび操作する CME、USB、MIDI ハードウェアデバイスモデル、およびポートを選択するために使用されます。新しいデバイスがコンピューターに接続されている場合は、[Rescan MIDI] ボタンを使用して、新しく接続された CME USB MIDI ハードウェアデバイスを再スキャンし、[製品]および[ポート]のドロップダウンボックスに表示されるようにします。複数の CME USB MIDI ハードウェアデバイスが同時に接続されている場合は、ここでセットアップする製品とポートを選択してください。

プリセット設定エリアでは、MIDI ノート、プログラム変更、またはコントロール変更メッセージを介してユーザープリセットのリモート切り替えを有効にすることもできます。



システム要件

ウィンドウズ:

- USB ポート を備えた任意の PC。
- オペレーティングシステム:Windows XP(SP3)/ Vista(SP1)/ 7/8/10/11 以降。

Mac OS の場合:

- USB ポート を備えた AppleMacintosh コンピューター。
- オペレーティングシステム:Mac OS X 10.6 以降。

iOS の場合:

- iPad、iPhone、iPod Touch シリーズのすべての製品。Apple Camera Connection Kit または Lightning - USB カメラアダプタを別途購入する必要があります。
- オペレーティングシステム:Apple iOS 5.1 以降。

アンドロイド:

- タブレットや携帯電話なら何でも。USB OTG アダプターケーブルのご購入が別途必要です。
- オペレーティングシステム:Google Android 5 以降。

仕様:

テクノロジー	USB クライアント、USB MIDI クラスに準拠 (プラグ アンド プレイ)
--------	--

コネクタ	1x USB-C(クライアント) 1x 5 ピン DIN [TO MIDI OUT ➡] ホワイト コネクタ 1x 5 ピン DIN [TO MIDI IN ➡] 黒 色コネクタ
LED インジケータ	1 LED インジケータ
ボタン	プリセットやその他の機能用の 1x ボタン
対応デバイス	USB MIDI プラグアンドプレイをサポートするコンピューターと USB MIDI ホストデバイス 標準 MIDI ソケットを備えたデバイス(5V および 3.3V 互換を含む)
対応 OS	macOS、iOS、Windows、Android、Linux、Chrome OS
MIDI メッセージ	ノート、コントローラー、クロック、sysex、MIDI タイムコード、MPE など、MIDI 規格のすべてのメッセージ
有線伝送	ゼロレイテンシーとゼロジッターに近づく
電源	USB-C ソケット、標準の 5V USB バスまたは充電器経由で給電 MIDI OUT/スルー ポート(標準 MIDI 5V または 3.3V 電源)
設定 と ファームウェアのアップグレード	UxMIDI ツールソフトウェアを使用して USB-C ポート経由で設定/アップグレード可能(USB ケーブル経由の Win/Mac/iOS および Android タブレット)
消費電力	116 mW
長さ	2 メートル/6.56 フィート

重量	89 g / 3.14 オンス
----	-----------------

仕様は予告なく変更される場合があります。

FAQ

- **C2MIDI Pro の LED ライトが点灯しない**
 - コンピュータの USB ソケットに電源が供給されているか、電源アダプタに電力が供給されているか確認してください。
 - USB パワーバンクを使用する場合は、低電流充電モード(Bluetooth イヤホンやスマートブレスレットなど)があり、自動省電力機能がないパワーバンクを選択してください。
- **MIDI キーボードを演奏しているときに、コンピューターは MIDI メッセージを受信しません。**
 - 音楽ソフトで C2MIDI PRO が MIDI 入力デバイスとして正しく選択されているか確認してください。
 - [TO MIDI OUT] ホワイト ➡ 5 ピン DIN コネクタが MIDI キーボードの MIDIOUT ポートに正しく接続されているか確認してください。
 - UxMIDI ツールソフトウェアを使用してカスタム MIDI ルーティングまたはフィルタリングを設定した ことがあるかどうかを確認してください。 電源投入状態でボタンを 5 秒間押し続けてから離すと、インターフェイス

を 工場出荷時のデフォルト状態にリセットできます。

- **外部サウンドモジュールは、コンピューターで再生された MIDI メッセージに応答していません。**

- 音楽ソフトで C2MIDI PRO が MIDI 出力デバイスとして正しく選択されているか確認してください。
 - [TO MIDI IN]黒の➡5 ピン DIN コネクタが外部サウンドモジュールの MIDIIN ポートに正しく接続されているか確認してください。
 - UxMIDI ツールソフトウェアを使用してカスタム MIDI ルーティングまたはフィルタリングを設定した ことがあるかどうかを確認してください。 電源投入状態でボタンを 5 秒間押し続けてから離すと、インターフェイスを 工場出荷時のデフォルト状態にリセットできます。
- **インターフェースに接続されたサウンドモジュールに、長い音符または乱れた音符があります。**
 - この問題は、MIDI ループバックが原因である可能性が最も高い です。UxMIDI ツールソフトウェアを介してカスタム MIDI ルーティングを設定しているかどうかを確認してください。 電源投入状態でボタンを 5 秒間押し続けてから離すと、インターフェイスを 工場出荷時のデフォルト状態にリセットできます。

接触

E メール: support@cme-pro.com

Web ページ: www.cme-pro.com